

---

## 1.2. 都市構造分析

### 1.2.1. 都市機能の立地状況

各都市機能施設の立地状況を把握するため、地図上に整理をした。また、各施設の徒歩圏は、「都市構造の評価に関するハンドブック」（国土交通省）に基づき、一般的な徒歩圏とされる半径 800m とした。

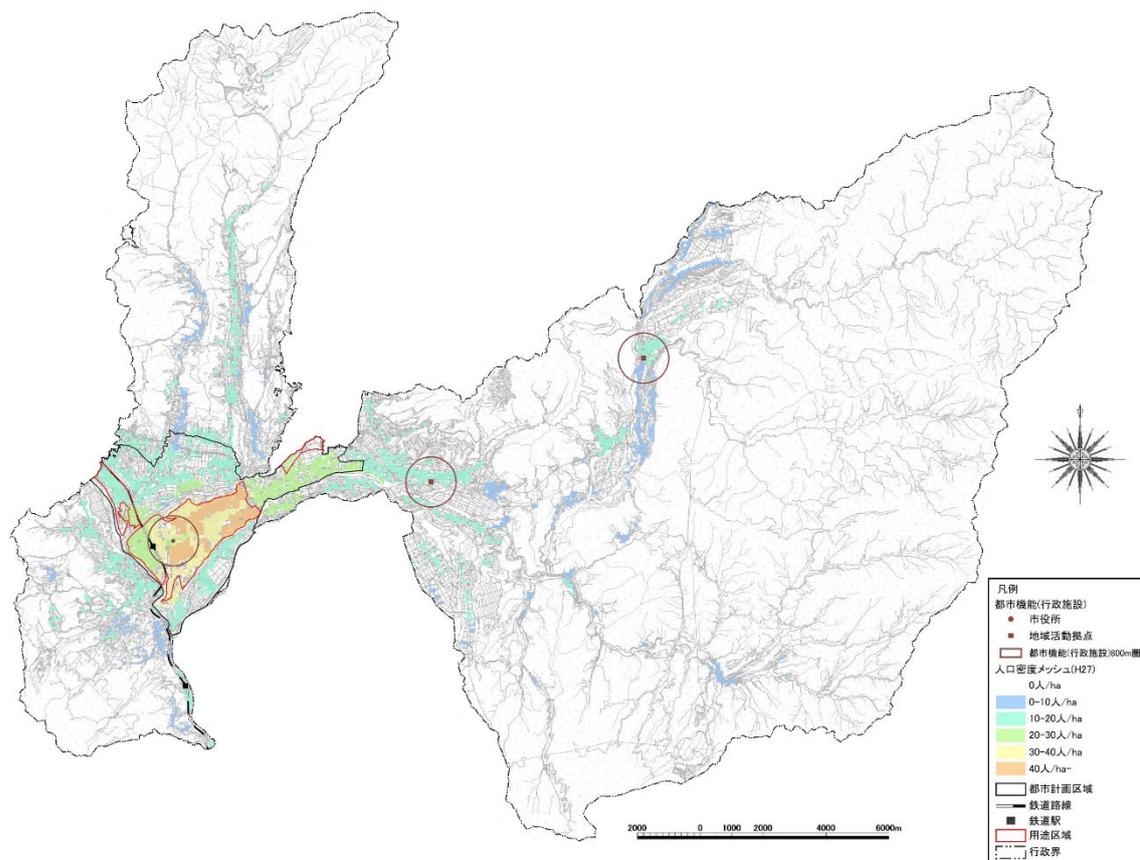
#### (1) 行政施設の分布

都市計画区域用途地域内に市役所が立地している。都市計画区域外の白沢及び利根地区にはインフラの管理や生活に必要な窓口を擁した地域活動拠点（市役所支所）が 2 箇所立地している。

用途地域内であっても徒歩圏に含まれていないエリアが存在している。

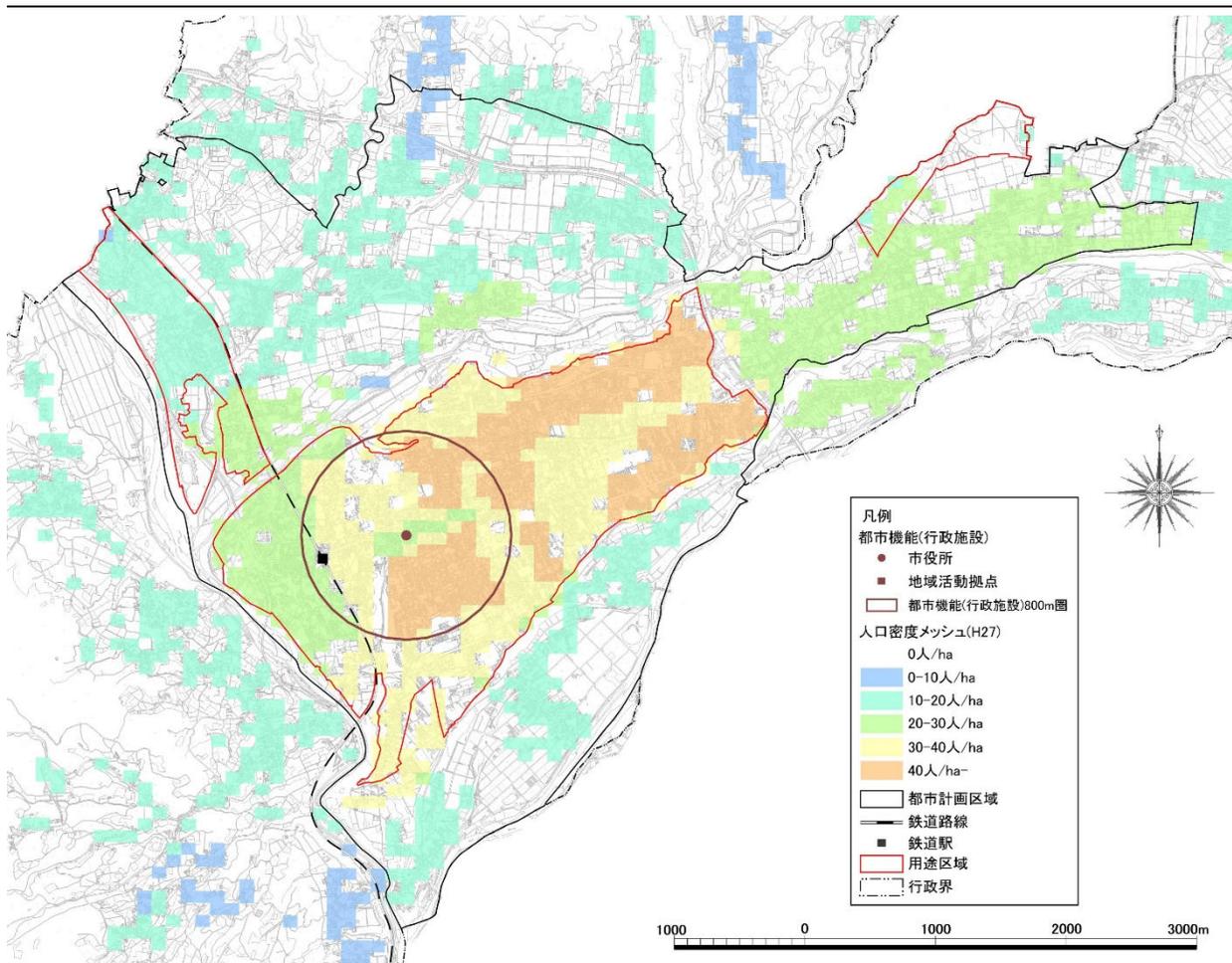
No.	施設名	住所	分類
1	沼田市役所	沼田市下之町 888	市役所
2	白沢地区コミュニティセンター	沼田市白沢町平出 135-1	地域活動拠点
3	利根地区コミュニティセンター	沼田市利根町追貝 37	地域活動拠点

※行政施設・・・行政サービスの窓口機能を有する市役所支所等の行政施設



資料：市提供データ（公共施設）

表 1-49 行政機能分布（全域）



資料：市提供データ（公共施設）

表 1-50 行政機能分布（都市計画区域）

## (2) 医療施設の分布

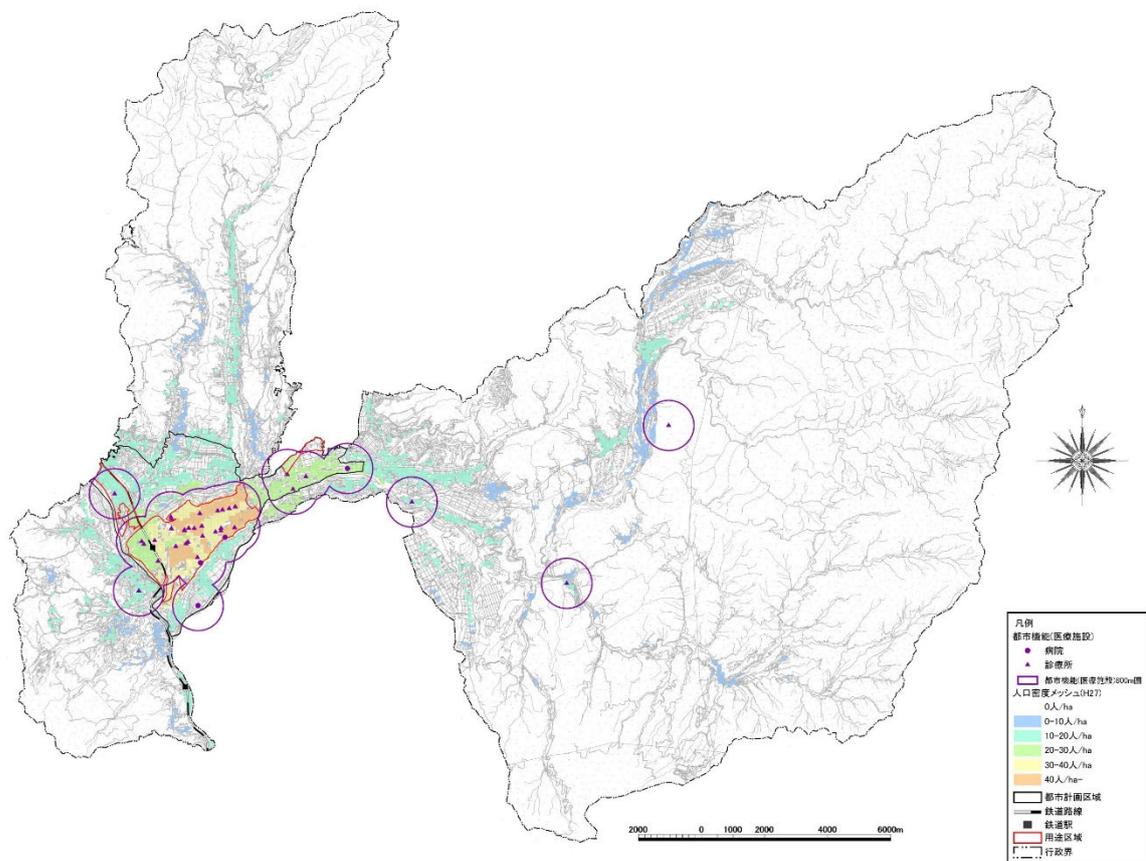
医療施設は都市計画区域周辺、特に用途地域内に集積して立地している。病床を持つ病院は都市計画区域内に限られている。用途地域は全域が徒歩圏域に含まれている。

都市計画区域外には、診療所が4施設立地しているが、人口が集積しているにも関わらず、医療施設の徒歩圏に含まれていないエリアが存在する。

No.	施設名	住所	総病床数	分類
1	利根中央病院	沼田市沼須町9 1 0 番地 1	253	病院
2	沼田病院	沼田市上原町1 5 5 1 - 4	179	病院
3	内田病院	沼田市久屋原町3 4 5 - 1	99	病院
4	沼田脳神経外科循環器科病院	沼田市栄町 8	84	病院
5	白根クリニック	沼田市薄根町 3300-1	19	診療所
6	角田外科医院	沼田市上原町 1555-3	19	診療所
7	久保産婦人科医院	沼田市高橋場町 2031-4	11	診療所
8	つのだ小児科クリニック	沼田市西原新町甲 122	0	診療所
9	光整形外科医院	沼田市東倉内町 219-8	0	診療所
10	矢内整形外科医院	沼田市薄根町字天水 4062-3	0	診療所
11	かないクリニック	沼田市西原新町甲 92	0	診療所
12	江森内科医院	沼田市西倉内町 588	0	診療所
13	青木クリニック	沼田市高橋場町 2048-3	0	診療所
14	かない眼科クリニック	沼田市高橋場町 2072-9	0	診療所
15	武田メンタルクリニック	沼田市横塚町 1181-1	0	診療所
16	しめぎ整形外科クリニック	沼田市柳町 2563-12	0	診療所
17	つのだ医院	沼田市久屋原町 114-1	0	診療所
18	こうだ医院	沼田市材木町 156	0	診療所
19	堤眼科	沼田市馬喰町 1231-2	0	診療所
20	沼田キラリ眼科	沼田市東倉内町 282-9	0	診療所
21	パース整形外科クリニック	沼田市下久屋町 940-1	0	診療所
22	藤塚医院	沼田市下川田町 530	0	診療所
23	松田耳鼻咽喉科医院	沼田市東原新町 1538-17	0	診療所
24	沼田クリニック	沼田市栄町 61-3	0	診療所
25	藤塚クリニック	沼田市高橋場町 2150-11	0	診療所
26	平井皮膚科医院	沼田市恩田町 353	0	診療所
27	沼田利根医師会休日夜間急患診療所	沼田市上原町 1801-68	0	診療所
28	代田眼科	沼田市上原町 1619-15	0	診療所
29	石田医院	沼田市馬喰町 1214	0	診療所
30	むらた耳鼻咽喉科クリニック	沼田市高橋場町 2059-8	0	診療所

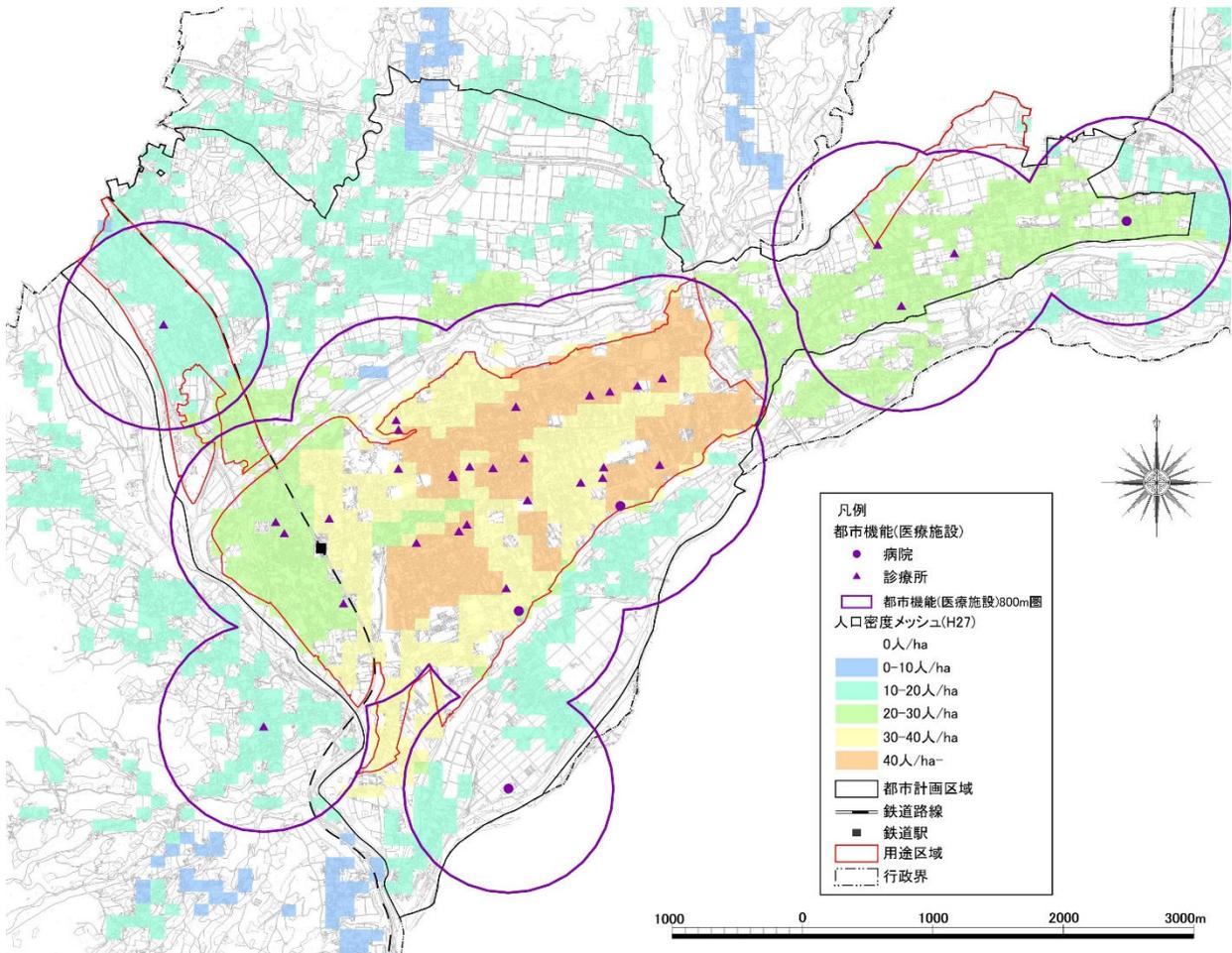
31	利根中央診療所	沼田市西原新町 1864-2	0	診療所
32	さこだクリニック	沼田市坊新田町 1029-1	0	診療所
33	塩崎医院	沼田市清水町 4211	0	診療所
34	やなぎまち皮膚科クリニック	沼田市柳町 2562-1	0	診療所
35	金子医院	沼田市白沢町平出 765	0	診療所
36	利根南郷診療所	沼田市利根町日影南郷 90-3	0	診療所
37	皇海診療所	沼田市利根町大楊 969-2	0	診療所
38	利根沼田保健所	沼田市薄根町 4412	0	診療所

※老健内診療所は除く



資料：市提供資料（医療施設）

表 1-51 医療施設分布（全域）



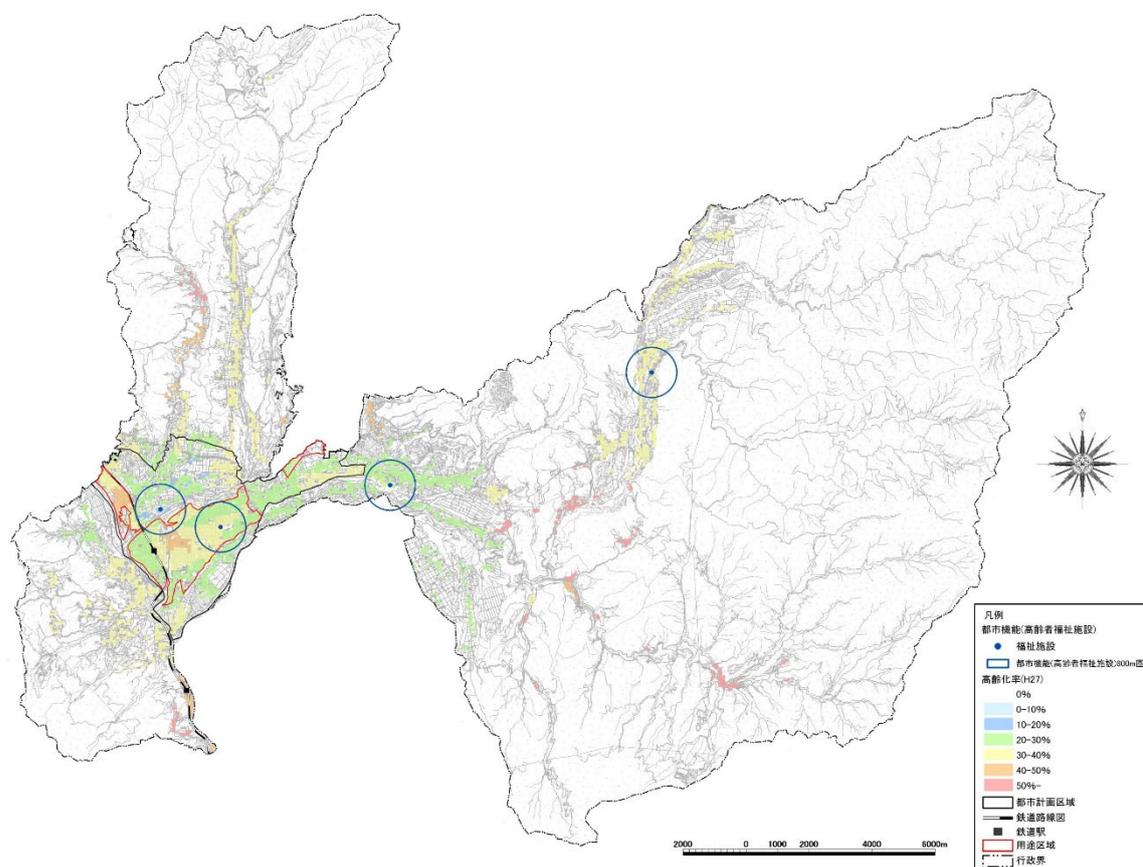
資料：市提供資料（医療施設）

表 1-52 医療施設分布（都市計画区域）

### (3) 福祉施設の分布

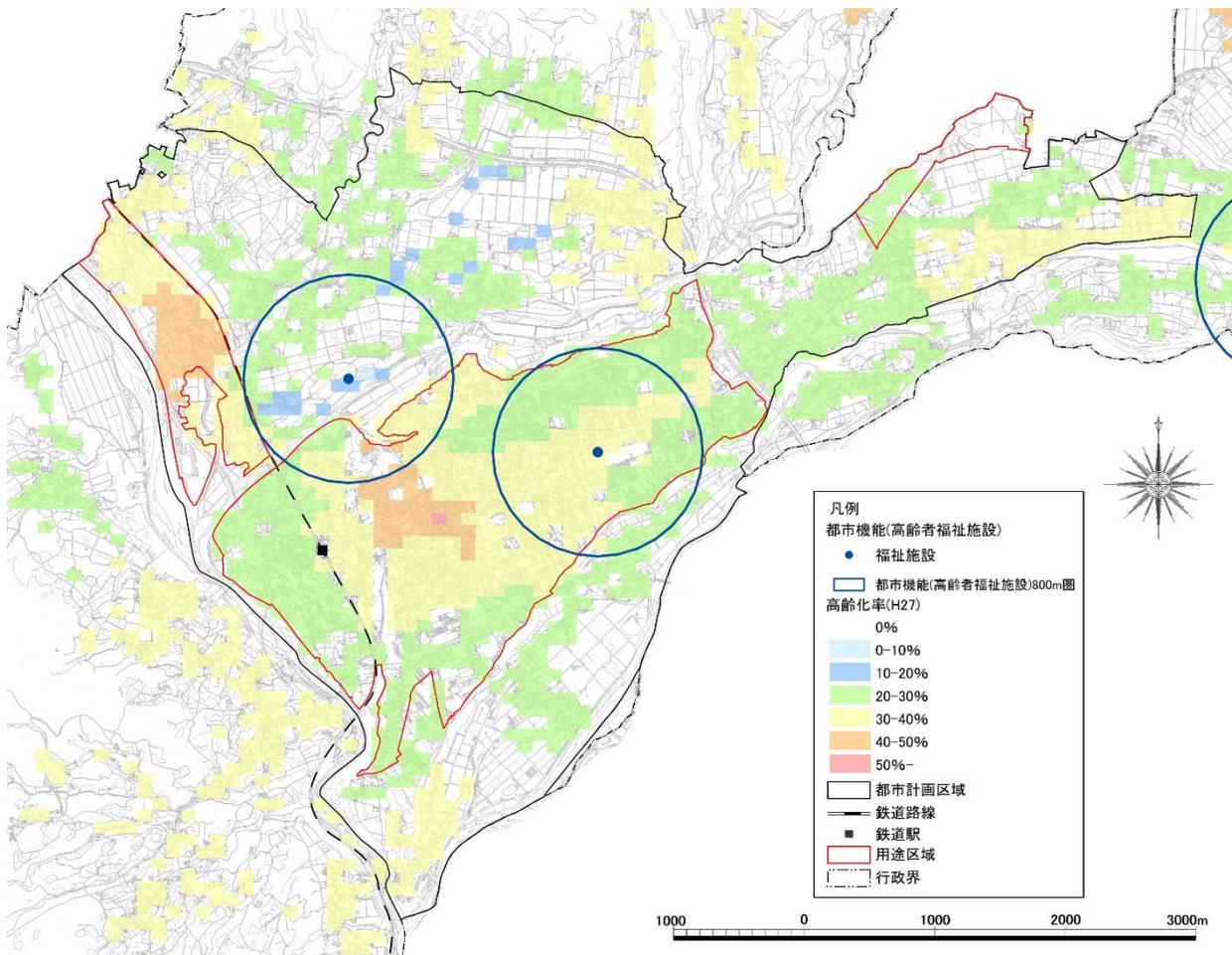
公営福祉施設は、都市計画区域内に 2 施設立地している。都市計画区域外においては、都市計画区域縁辺部の白沢地区に 1 軒立地している他、利根地区に 1 軒立地している。用途地域内において福祉施設の徒歩圏域に含まれていないエリアが存在する。

No.	施設名	住所	分類
1	沼田市保健福祉センター	沼田市東原新町 1801-72	福祉施設
2	白沢健康福祉センター	沼田市白沢町平出 1312-4	福祉施設
3	利根保健福祉センター	沼田市利根町大楊 1085-3	福祉施設
4	ふれあい福祉センター	沼田市白岩町 189-11	福祉施設



資料：市提供データ（公共施設）

表 1-53 公営福祉施設分布（全域）



資料：市提供データ（公共施設）

表 1-54 公営福祉施設分布（都市計画区域）

---

#### (4) 商業施設の分布

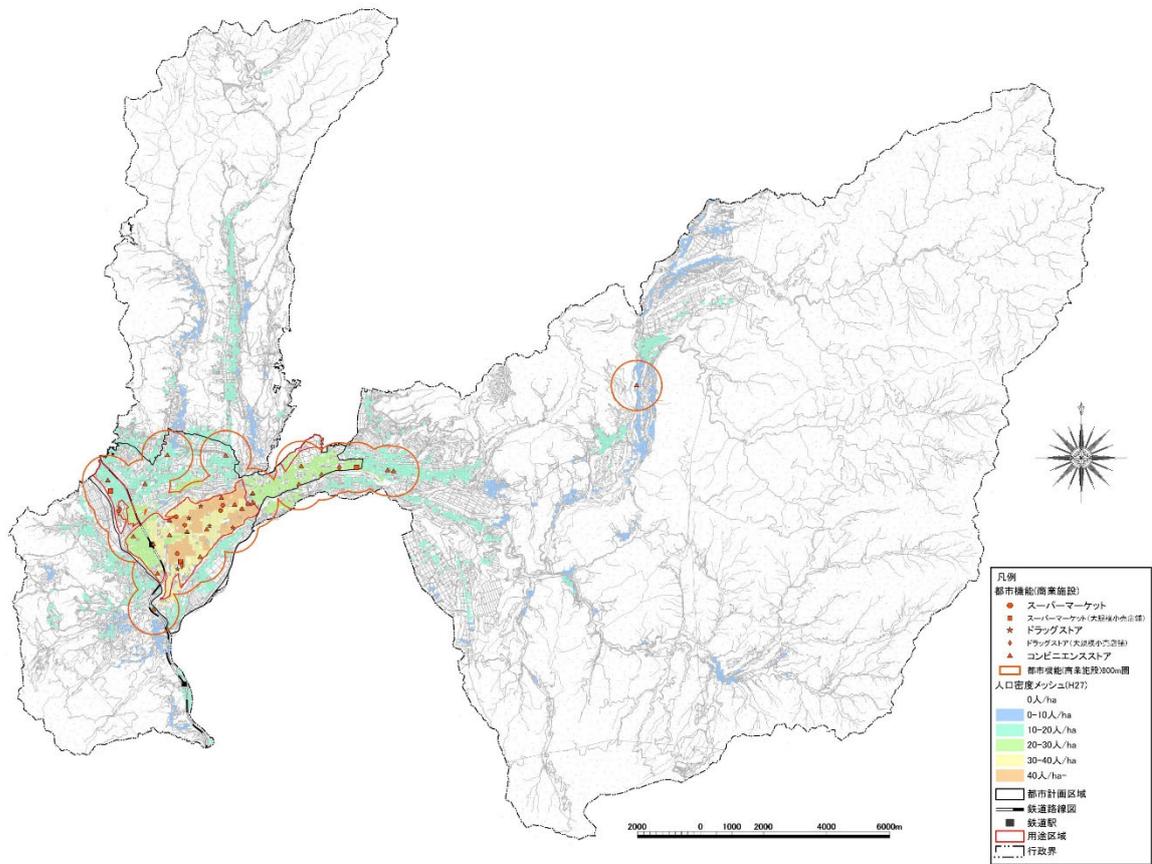
商業施設は、都市計画区域内に集積している。特に、用途地域内に集積して立地しており、用途地域内には、スーパーマーケットが 8 軒、ドラッグストアが 6 軒、コンビニが 12 軒立地している。

都市計画区域外においては、コンビニが 4 軒立地しているのみで、そのうち 3 軒が都市計画区域縁辺部に立地している。利根地区においては 1 軒のみの立地となっている。

都市計画区域については、概ね全域が徒歩圏に含まれている。

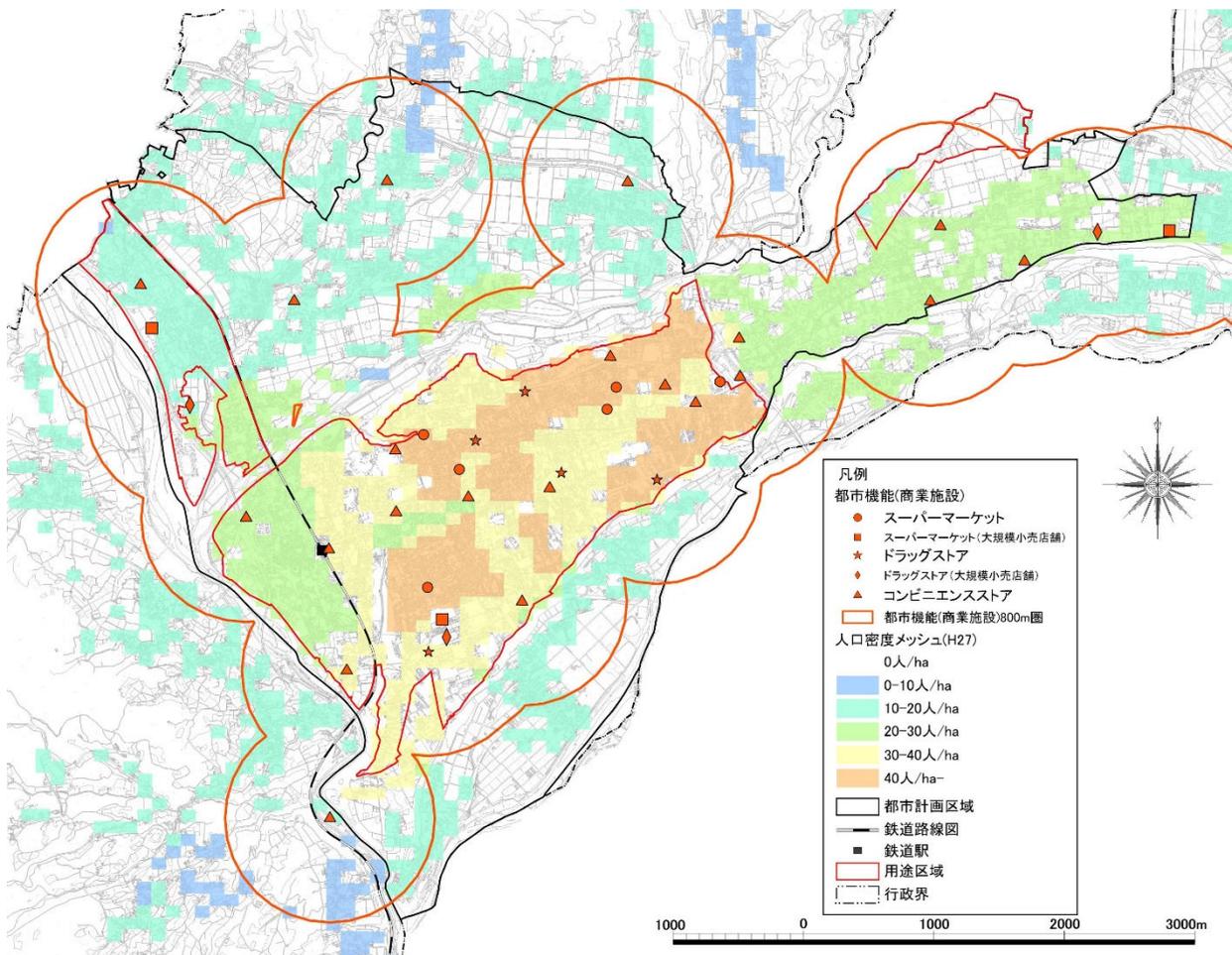
No.	施設名	住所	分類	大規模 小売店
1	フレッセイ 沼田店	沼田市材木町 292	スーパー	
2	フレッセイ 沼田恩田店	沼田市恩田町 3 2 1 - 2	スーパー	○
3	フレッセイ 沼田栄町店	沼田市栄町 2 1 0 - 2	スーパー	○
4	こまつや	沼田市東倉内町 484-2	スーパー	
5	沼田モール	沼田市久屋原町 415 ほか	スーパー	○
6	ベイシアマート 沼田店	沼田市高橋場町 2049-2	スーパー	
7	サンモール 桜町店	沼田市桜町 1966-2	スーパー	
8	サンモール 鍛冶町店	沼田市鍛冶町 3 9 6 8 - 4	スーパー	
9	ユースフル	沼田市桜町 4738	スーパー	
10	ウエルシア 沼田店	沼田市東原新町 1831-1	ドラッグストア	
11	ウエルシア 沼田栄町店	沼田市栄町 221-3	ドラッグストア	
12	ウエルシア 沼田バイパス店	沼田市高橋場町 2190-1	ドラッグストア	
13	カワチ薬品 沼田店	沼田市恩田町 585	ドラッグストア	○
14	カワチ薬品 沼田東店	沼田市久屋原町 311-1	ドラッグストア	○
15	クスリのアオキ 高橋場店	沼田市高橋場町 304-14	ドラッグストア	
16	クスリのアオキ 上原店	沼田市上原町 1605-4	ドラッグストア	
17	クスリのアオキ 沼田栄店	沼田市栄町 201 番地 3	ドラッグストア	○
18	セブン-イレブン 沼田東原新町店	沼田市東原新町 1842-1	コンビニ	
19	セブン-イレブン 沼田インター店	沼田市上原町 1726-24	コンビニ	
20	セブン-イレブン 沼田高橋場北店	沼田市高橋場町 4585-3	コンビニ	
21	ミニストップ 沼田北小前店	沼田市高橋場町 2072-11	コンビニ	
22	ファミリーマート 沼田インター店	沼田市桜町 1678-5	コンビニ	
23	セブン-イレブン 沼田栄町店	沼田市栄町 52-5	コンビニ	
24	セブン-イレブン 沼田西倉内町店	沼田市西倉内町 817-1	コンビニ	
25	セブン-イレブン 沼田横塚町店	沼田市横塚町 1397-12	コンビニ	
26	セブン-イレブン 沼田岡谷町店	沼田市岡谷町 700-1	コンビニ	
27	セブン-イレブン 沼田戸鹿野店	沼田市戸鹿野町 373-4	コンビニ	
28	ファミリーマート 沼田西倉内町店	沼田市西倉内町 506-1	コンビニ	
29	ミニストップ 沼田天狗プラザ店	沼田市材木町 195-1	コンビニ	
30	ファミリーマート 沼田久屋原町店	沼田市久屋原町 5-1	コンビニ	
31	セブン-イレブン 沼田善桂寺店	沼田市善桂寺町 236-1	コンビニ	
32	ローソン 沼田横塚店	沼田市横塚町 465-3	コンビニ	
33	セブン-イレブン 沼田上久屋店	沼田市久屋原町 270-1	コンビニ	
34	ローソン 下沼田店	沼田市下沼田町 481-1	コンビニ	
35	セブン-イレブン 沼田井土上店	沼田市井土上町 125-1	コンビニ	
36	ミニストップ 沼田バイパス店	沼田市薄根町 3400-28	コンビニ	
37	ヤマザキYショップ 沼田駅前店	沼田市清水町 4314-6	コンビニ	
38	ファミリーマート 沼田三洋ドライ ブイン店	沼田市屋形原町 1426	コンビニ	

※日常生活に必要な物品の販売店舗等の用に供する施設



資料：市提供データ（商業施設）

表 1-55 商業施設分布（全域）



資料：市提供データ（商業施設）

表 1-56 商業施設分布（都市計画区域）

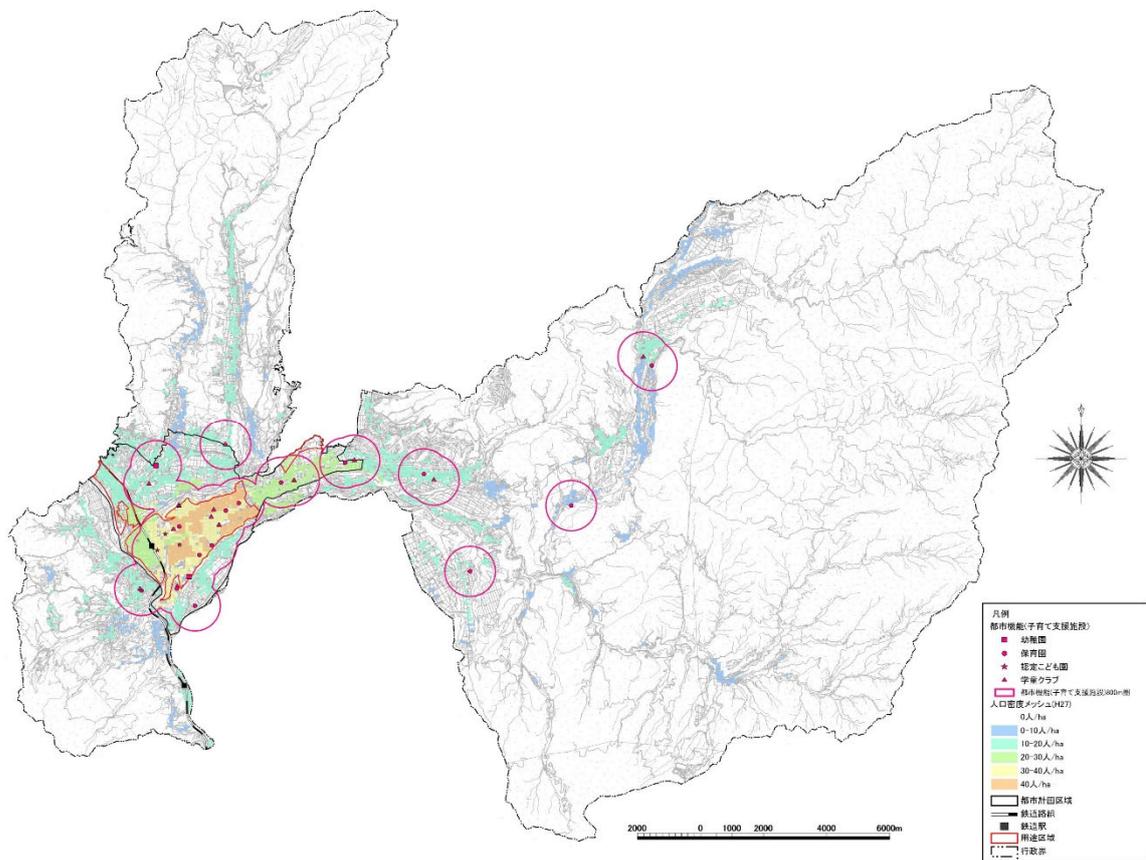
### (5) 子育て支援施設の分布

都市計画区域内、特に用途地域内に子育て支援施設が集中して立地している。都市計画区域内はほとんどが徒歩圏域に含まれる。

都市計画区域外においては、保育園及び学童クラブが立地している。白沢及び利根コミュニティセンター周辺には、双方の施設が立地している。

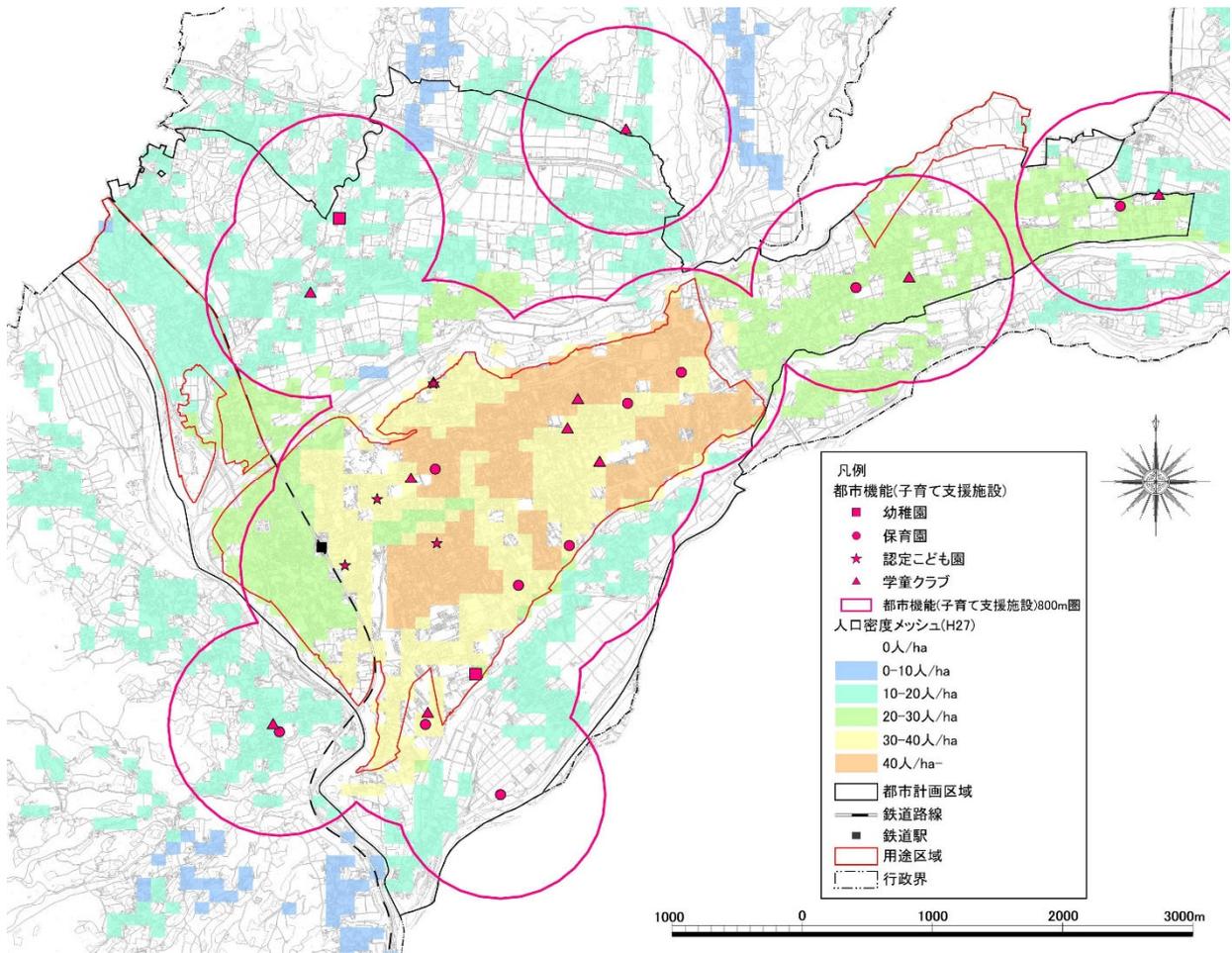
No.	施設名	住所	カテゴリ
1	利南幼稚園	栄町 141	幼稚園
2	薄根幼稚園	善桂寺町 78	幼稚園
3	ぬまた南保育園	東原新町 1411-5	保育園
4	川田保育園	下川田町 540	保育園
5	白沢保育園	白沢町高平 20	保育園
6	利根保育園	利根町大楊 1078-2	保育園
7	多那保育園	利根町輪組 867-1	保育園
8	横塚保育園	横塚町 1223-1	保育園
9	熊の子保育園	戸鹿野町 578-3	保育園
10	桜ヶ丘保育園	桜町 4798	保育園
11	利根保険生活協同組合どんぐり保育園	沼須町 910-1	保育園
12	社会福祉法人久仁会ひだまり保育園	久屋原町 444-2	保育園
13	水と森のようちえん ～こもんず～	利根町園原 659	保育園
14	ナイター保育「もこもこ」	東倉内町 548-1	保育園
15	沼田脳神経外科循環器科病院 輝き保育園	栄町 59-3	保育園
16	群馬ヤクルト販売(株) 沼田サービスセンターキッズルーム	桜町 1974-46	保育園
17	沼田幼稚園	坊新田町 1105-3	認定こども園
18	恵泉幼稚園	西倉内町 663-4	認定こども園
19	ちぐさこども園	柳町 394	認定こども園
20	沼田めぐみこども園	清水町 4330	認定こども園
21	沼田学童保育所	東原新町 1931 (十王公園前)	学童クラブ
22	めぐみ学童クラブ	清水町 4330 (沼田めぐみこども園内)	学童クラブ
23	さくら学童クラブ	西倉内町 746 (沼田小学校前)	学童クラブ
24	沼田東学童クラブ	東原新町 1801-1 (沼田東小学校敷地内)	学童クラブ
25	沼田東第2学童クラブ	東原新町 1801-1 (沼田東小学校敷地内)	学童クラブ
26	ちぐさ学童クラブ	柳町 397-10 (ちぐさこども園内)	学童クラブ
27	しらさわ学童クラブ	白沢町平出 73-1 (こども交流館)	学童クラブ

28	なでしこ学童クラブ	高橋場町 2031-6 (久保産婦人科医院そば)	学童クラブ
29	池田学童クラブ	岡谷町 1077-2	学童クラブ
30	利南東学童クラブ	下久屋町 972-19	学童クラブ
31	おひさま学童クラブ	戸鹿野町 543-3 (沼田南中学校そば)	学童クラブ
32	薄根学童館	下沼田町 450-9 2号 (薄根小学校そば)	学童クラブ
33	川田学童クラブ	下川田町 540 (川田小学校内)	学童クラブ
34	とね学童クラブ	利根町追貝 16-1 (利根支所そば)	学童クラブ
35	学童クラブ手をつなごう	久屋原町 444-2 (いきいき未来のもり)	学童クラブ



資料：沼田市公共施設総合管理計画

表 1-57 子育て支援施設分布（全域）



資料：沼田市公共施設総合管理計画

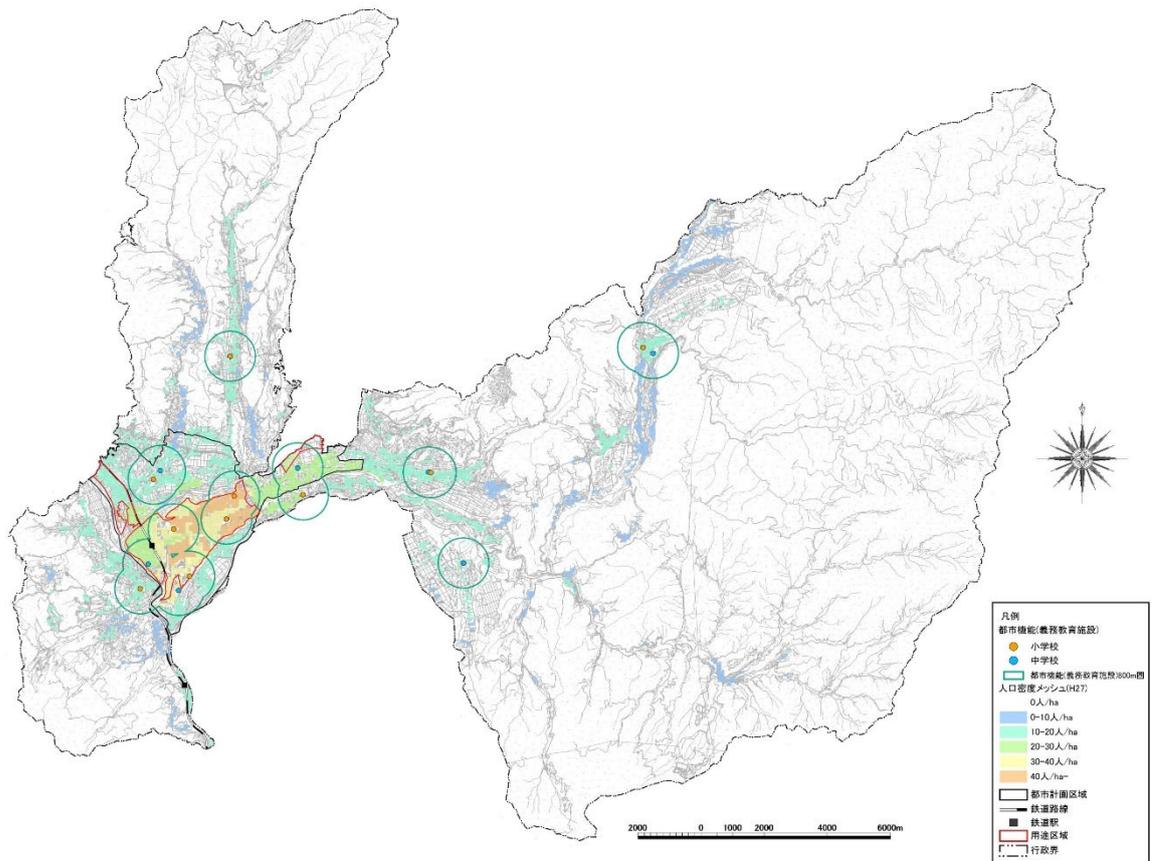
表 1-58 子育て支援施設分布（都市計画区域）

## (6) 義務教育施設の分布

都市計画区域周辺に小学校（6校）、中学校（3校）が複数立地しており、都市計画区域内は徒歩圏に含まれているエリアが多くなっている。

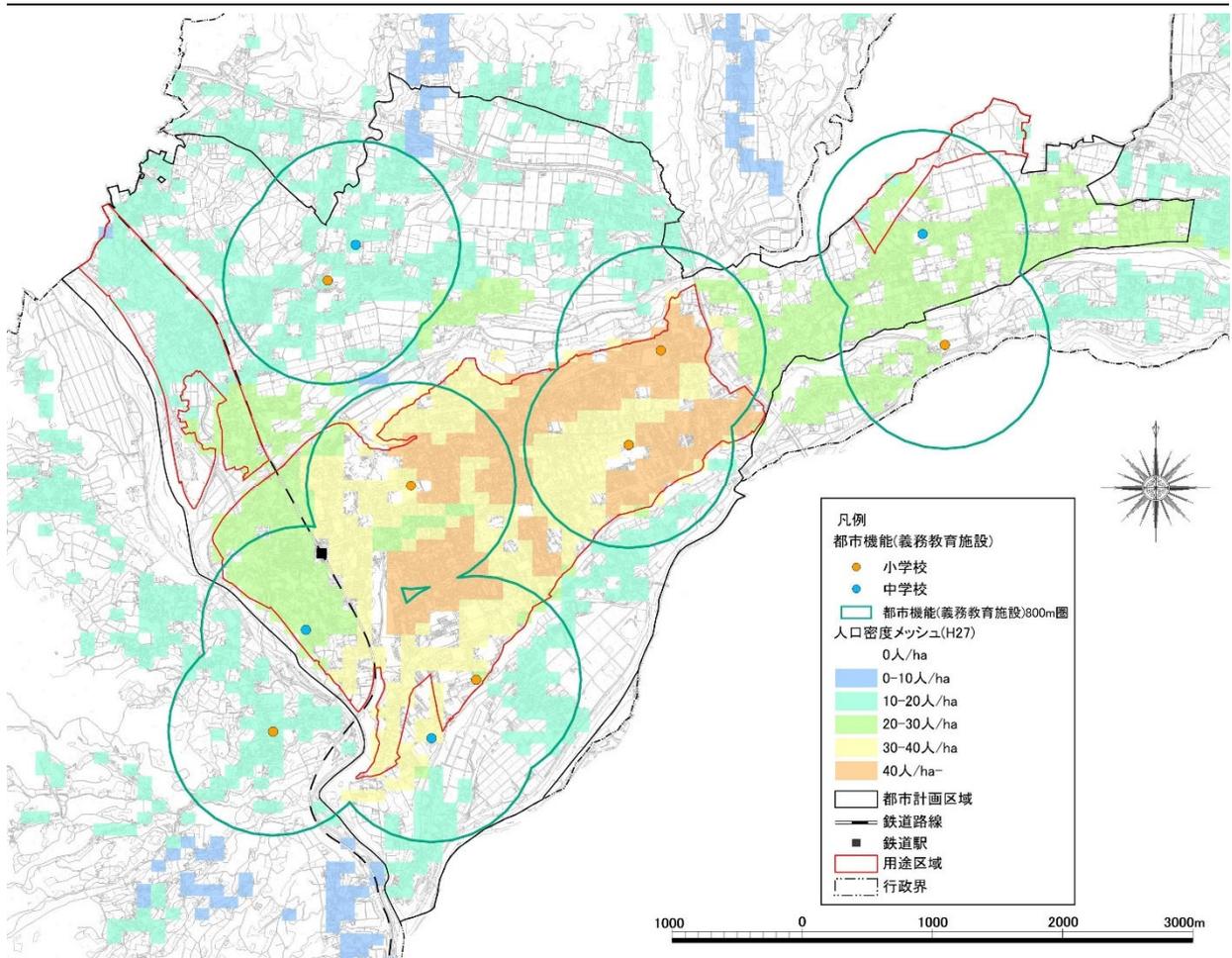
都市計画区域外においても立地がみられる。池田地区、白沢地区、利根地区では、小中学校が隣接して立地している。

No.	施設名	住所	分類
1	沼田小学校	沼田市西倉内町 746	小学校
2	沼田東小学校	沼田市東原新町 1801-1	小学校
3	沼田北小学校	沼田市高橋場町 4898	小学校
4	升形小学校	沼田市栄町 141	小学校
5	利南東小学校	沼田市上久屋町 2135	小学校
6	池田小学校	沼田市発知新田町 533	小学校
7	薄根小学校	沼田市善桂寺町 32	小学校
8	川田小学校	沼田市下川田町 540	小学校
9	白沢小学校	沼田市白沢町高平 94-1	小学校
10	利根小学校	沼田市利根町追貝 93	小学校
11	多那小学校	沼田市利根町多那 732	小学校
12	沼田中学校	沼田市東原新町 1801-1	中学校
13	沼田南中学校	沼田市戸鹿野町 726	中学校
14	沼田西中学校	沼田市薄根町 3580	中学校
15	沼田東中学校	沼田市横塚町 1118	中学校
16	池田中学校	沼田市発知新田町 533	中学校
17	薄根中学校	沼田市善桂寺町 40	中学校
18	白沢中学校	沼田市白沢町高平 75-1	中学校
19	利根中学校	沼田市利根町追貝 334	中学校
20	多那中学校	沼田市利根町多那 732	中学校



資料：市提供データ（教育施設）

表 1-59 義務教育施設分布（全域）



資料：市提供データ（教育施設）

表 1-60 義務教育施設分布（都市計画区域）

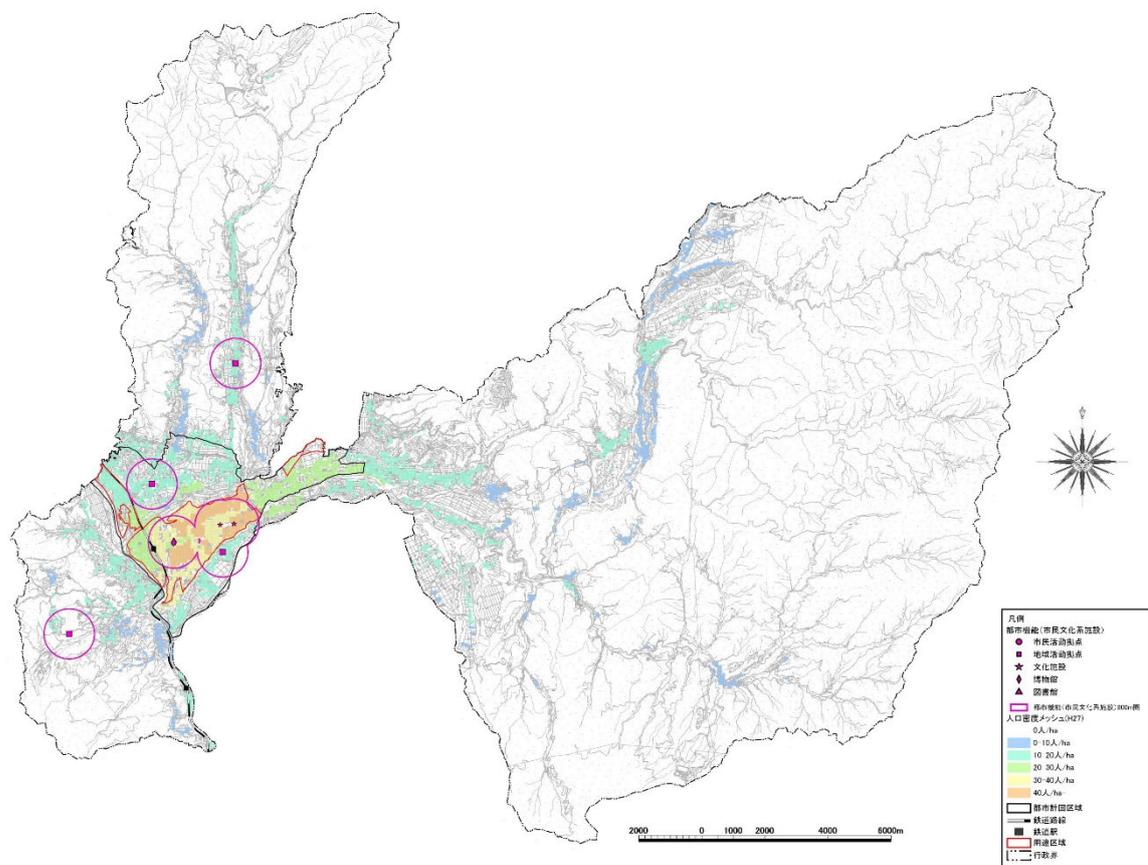
---

### (7) 市民文化系施設の分布

都市計画区域内に地域活動拠点が1軒、市民活動拠点が1軒、図書館が1軒、文化施設が2軒、博物館が1軒立地している。市内の他のエリアと比較すると集中して立地しており、特に用途地域内の中心市街地周辺は徒歩圏に含まれている。

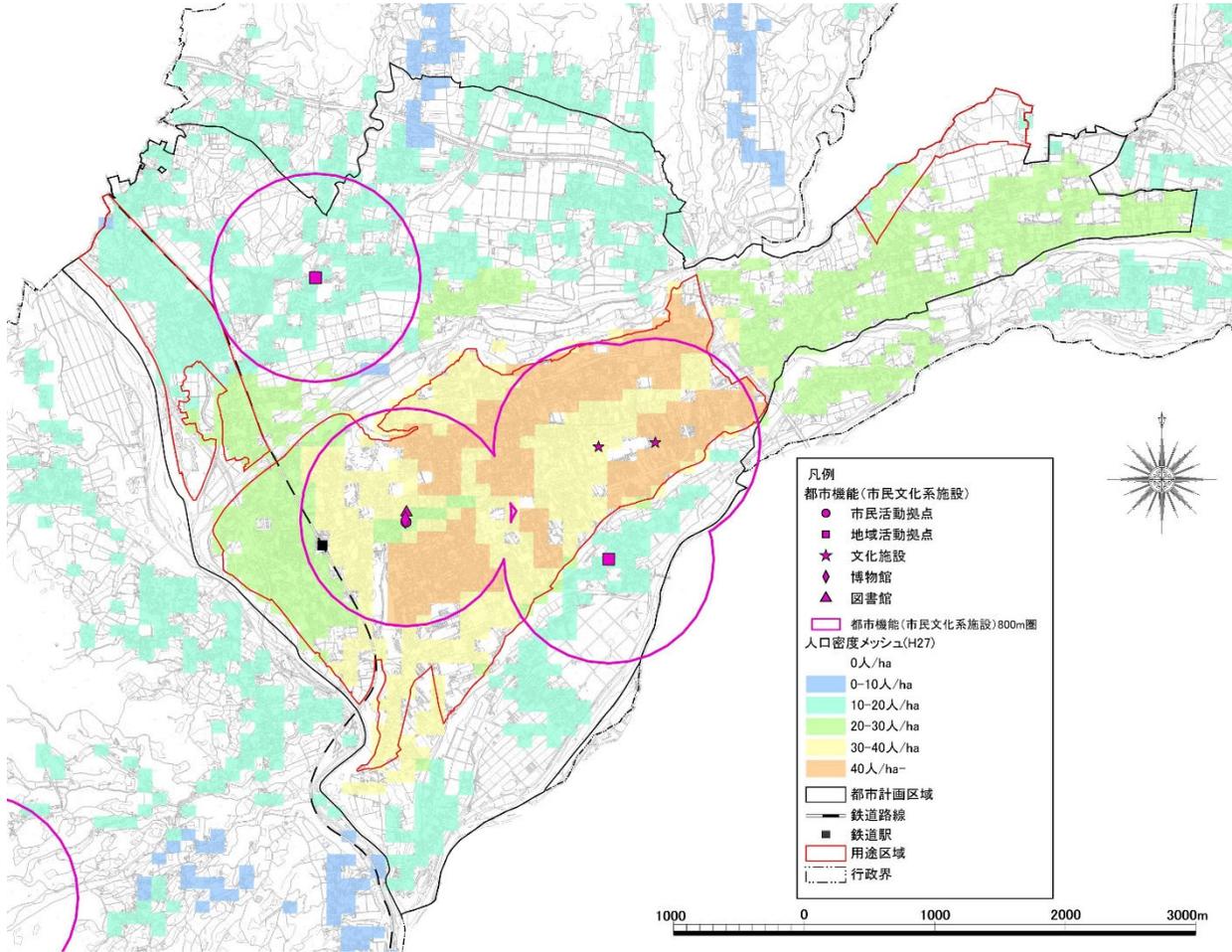
都市計画区域外においては、地域活動拠点が4軒立地している。

No.	施設名	住所	分類
1	利南地区コミュニティセンター	沼田市上沼須町 197	地域活動拠点
2	池田地区コミュニティセンター	沼田市発知新田町 530-3	地域活動拠点
3	薄根地区コミュニティセンター	沼田市下沼田町 733-1	地域活動拠点
4	川田地区コミュニティセンター	沼田市下川田町乙 798	地域活動拠点
5	沼田市民活動拠点コミュニティテラス	沼田市下之町 888	市民活動拠点
6	沼田市立図書館	沼田市西倉内町 821-1	図書館
7	利根沼田文化会館	沼田市上原町 1801-2	文化施設
8	ウェルプラザ	沼田市東原新町 1801-72	文化施設
9	歴史資料館	沼田市下之町 888	博物館



資料：市提供データ（公共施設）

表 1-61 市民文化系施設分布（全域）



資料：市提供データ（公共施設）

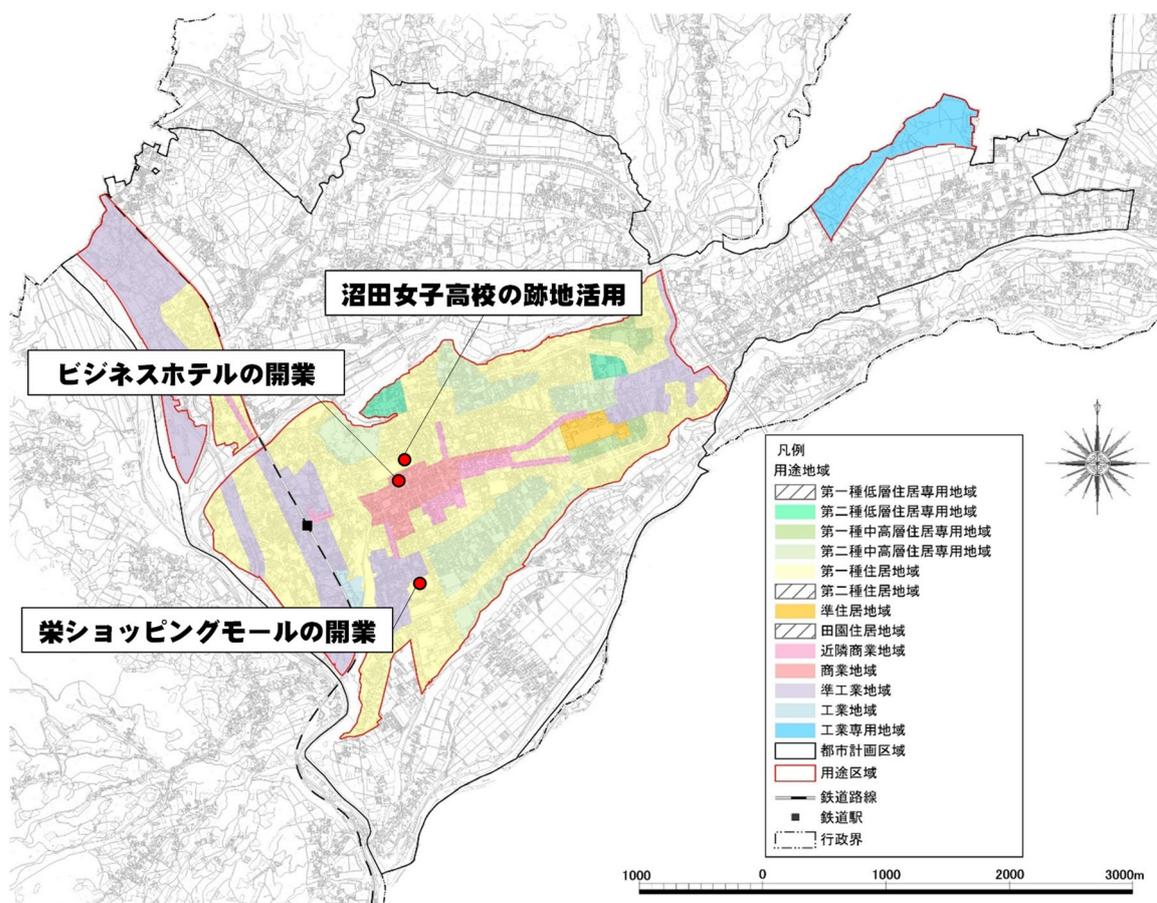
表 1-62 市民文化系施設分布（都市計画区域）

## (8) 市街地における都市機能立地に係る動向

昨今の市街地の動向について整理した。以下の動向を踏まえつつ、今後まちづくりを行っていく必要がある。

動向	所在地区	概要	出典
沼田女子高校の跡地活用	沼田地区	2025年に沼田高校と沼田女子高校が統合（新沼田高校）することから、空き施設となる沼田女子高校の学校跡地利用について今後具体的な検討が予定されている。	日本興業経済新聞社 HP: <a href="https://www.nikoukei.co.jp/news/detail/469188">https://www.nikoukei.co.jp/news/detail/469188</a> 朝日新聞デジタル HP: <a href="https://www.asahi.com/articles/ASQ7H71VZQ7CUHNB00W.html">https://www.asahi.com/articles/ASQ7H71VZQ7CUHNB00W.html</a>
ビジネスホテルの開業	沼田地区	令和元年に市役所が移転したことから、旧沼田市役所跡地の活用方法について民間事業者からの提案を公募し、令和5年10月に市役所跡地にビジネスホテル「ホテルルートイン沼田」が開業された。これにより、雇用創出や観光や地元商店の活性化等の地域経済活性化や、市への財政貢献といった、宿泊施設を核とした市街地活性化が期待される。	沼田市 HP: <a href="https://www.city.numata.gunma.jp/shisei/keikaku/1006813/1007427.html">https://www.city.numata.gunma.jp/shisei/keikaku/1006813/1007427.html</a>
栄町ショッピングモールの開業	沼田地区	スーパーのフレッセイが、栄町の造成地(約2万9000平方メートル)に5店舗で構成する大型ショッピングモールを建設し、令和5年10月下旬に開業した。これにより、遠方からの来訪者増加だけでなく、地元の雇用創出に寄与したことが期待される。	群馬上毛新聞 HP: <a href="https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/269363">https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/269363</a>

資料：沼田女子高校の跡地活用…日本興業経済新聞社 HP、朝日新聞デジタル HP  
ビジネスホテルの開業…沼田市 HP  
栄町ショッピングモールの開業…群馬上毛新聞 HP



資料：以下を参考に作成  
 沼田女子高校の跡地活用…日本興業経済新聞社 HP、朝日新聞デジタル HP  
 ビジネスホテルの開業…沼田市 HP  
 栄ショッピングモールの開業…群馬上毛新聞 HP

表 1-63 市街地における都市機能立地動向 位置図

## 1.2.2. 都市構造の評価

都市構造の現状を把握するため、都市構造評価に係る指標を用いてレーダーチャート分析を行った。県内同規模都市である渋川市を対象に比較分析を行った。

また、近隣町村との関係性を把握するため、近隣町村との比較分析を行った。

分析にあたり、立地適正化計画に関連の深い以下の指標項目を設定した。

表 1-64 指標項目

指標分類	指標小分類	指標項目	
基礎情報	人口推移	人口密度	H27(2015) [人/ha]
		将来推計人口	R27/H27 変化率 [%]
防災	災害	ハザードエリア面積(土砂災害警戒区域)	[ha]
		ハザードエリア面積(洪水浸水想定区域)	[ha]
生活利便性の指標	都市機能の適正配置	生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率(医療施設徒歩圏)	福祉施設徒歩圏(800m) [%]
		生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率(福祉施設徒歩圏)	福祉施設徒歩圏(800m) [%]
		生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率(商業施設徒歩圏)	商業施設徒歩圏(800m) [%]
	居住機能の適切な誘導	基幹的公共道路線の徒歩圏人口カバー率	駅またはバス停留所徒歩圏(800m、300m) [%]
	公共交通の利用促進	公共交通沿線地域の人口密度	駅およびバス停徒歩圏(800m、300m)内 [人/ha]
健康・福祉の指標	都市生活の利便性向上	高齢者福祉施設の中学校圏域高齢人口カバー率	福祉施設(1,000m)※65歳以上 [%]
		保育所の徒歩圏0~4歳人口カバー率	保育所徒歩圏(800m)※0~4歳 [%]
	健康・医療の状況	一人あたり国民健康保険医療費	国民医療費 [千円]
		要支援・要介護認定率	
行政運営の指標	都市経営の効率化	市民一人あたりの歳出額	人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費[千円]
		財政力指数(市町村財政)	
	安定的な税収の確保	市民一人当たりの税収額	[千円]

(1) 全国都市及び県内同規模都市（渋川市）との比較

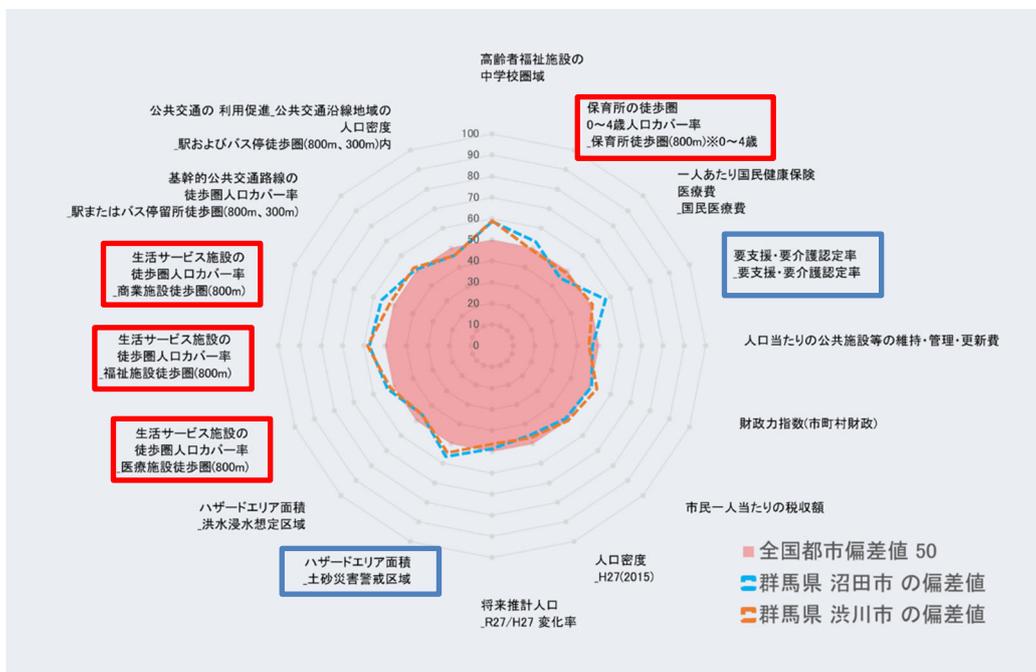
商業施設の徒歩圏人口カバー率は渋川市と比較すると高い水準となっている。その他の生活サービス施設（医療施設、福祉施設）については渋川市の水準と同程度となっているが、全国都市の水準は上回っている。

基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率、公共交通沿線地域の人口密度は、渋川市の水準や全国偏差値の水準と同程度である。

保育所徒歩圏人口カバー率は全国都市及び渋川市の水準と比較すると高くなっている。

一方で、要支援・要介護認定率の水準が、渋川市及び全国偏差値を大きく上回っており、今後高齢者人口が増加することを鑑みると、認定率はさらに高くなっていくことが見込まれる。

防災面では、洪水浸水想定区域面積は渋川市とは同程度であるが、全国都市と比較して低い水準である。一方、土砂災害警戒区域面積は渋川市と同程度だが、全国都市と比較すると高い水準となっており、土砂災害リスクの高さが顕著にみられる。



資料：国土交通省都市局の作成ツールを用いて作成

表 1-65 県内同規模都市（渋川市）との比較

---

## (2) 近隣町村との比較

近隣町村との関係性を把握するため近隣市町村と比較分析した。(次頁以降)

比較分析により把握した近隣市町村と比較した際の沼田市の特徴より、沼田市の強み・弱みを整理した。

### 【沼田市の強み】

- ・ 人口減少が複数の近隣町村に比べて緩やかな進行が予測される
- ・ 公共交通や福祉を含めた生活サービス施設の利便性が良い
- ・ 一人当たりの歳出額が比較的安く、都市経営の効率化が図られている

### 【沼田市の弱み】

- ・ 高齢者増加による医療費増大等、将来的に財政のひっ迫化の懸念がある
- ・ 土砂災害リスクが高い

## 1) みなかみ町との比較

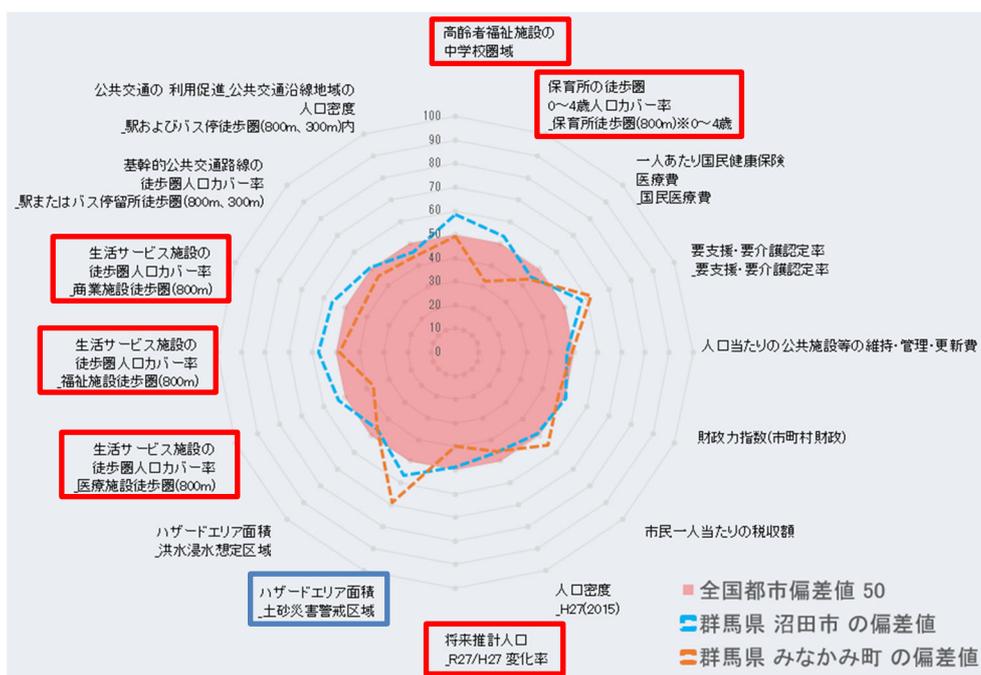
人口密度（H27）は同程度の水準であるが、沼田市の将来推計人口変化率はみなかみ町を大きく上回っていることから、みなかみ町に比べ沼田市では人口減少が緩やかに進行すると予測される。

公共交通、保育所、商業施設、福祉施設、医療施設の徒歩圏人口カバー率の水準が沼田市のほうが高いことから、公共交通や生活サービス施設の利便性がみなかみ町に比べて良いことが推察される。

高齢者福祉施設人口カバー率及び保育所徒歩圏人口カバー率は、みなかみ町（全国偏差値以下）よりも高い水準となっている。

要支援・要介護認定率の水準はみなかみ町と同水準で、全国偏差値を大きく上回っており、今後高齢者人口が増加することを鑑みると更に認定率が高くなるが見込まれる。沼田市は市民一人当たりの税収額がみなかみ町（全国偏差値より高水準）を下回っている。

沼田市の土砂災害リスクは全国偏差値よりも高い水準であったが、みなかみ町の水準は更に高い。



資料：国土交通省都市局の作成ツールを用いて作成

表 1-66 みなかみ町との比較

## 2) 片品村との比較

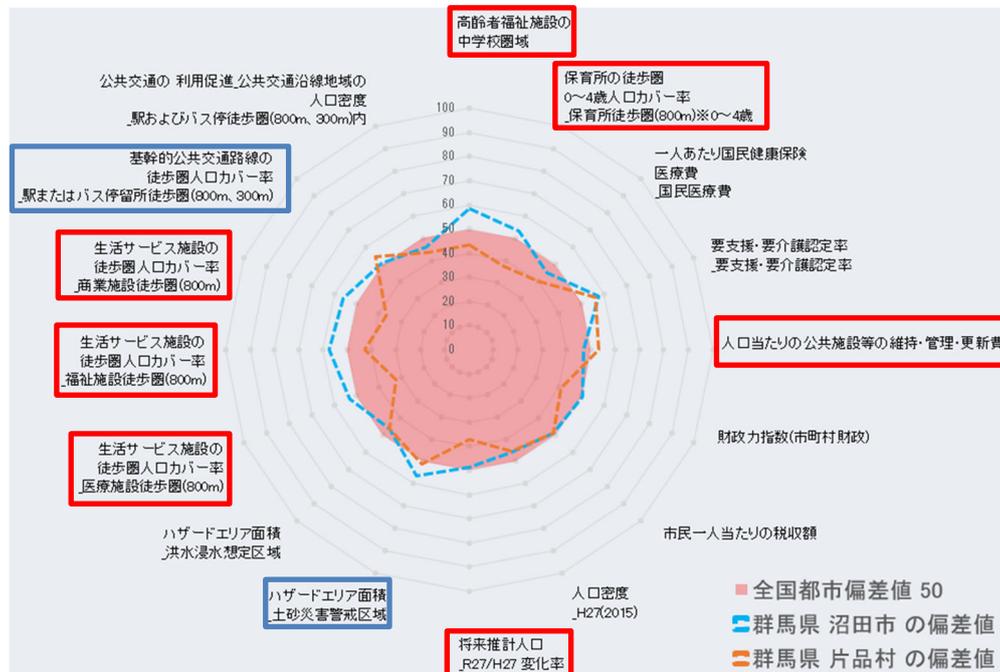
人口密度（H27）は同程度の水準であるが、沼田市の将来推計人口変化率は片品村の水準を大きく上回っていることから、片品村に比べ沼田市では人口減少が緩やかに進行すると予測される。

生活サービス施設（商業施設、福祉施設、医療施設）の徒歩圏カバー率の水準が、片品村に比べ沼田市のほうが高いことから、沼田市における生活サービス施設の利便性が片品村に比べて良いことが推察される。沼田市の基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率は、片品村よりもわずかに低い水準となっていることから、公共交通の利便性は片品村のほうが良いと推察される。

高齢者福祉施設人口カバー率及び保育所徒歩圏人口カバー率は、片品村（全国偏差値以下）よりも高い水準となっている。

要支援・要介護認定率の水準は片品村と同水準で全国偏差値を大きく上回っており、今後高齢者人口が増加することを鑑みると更に認定率が高くなることが見込まれる。人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費（一人当たりの歳出額）については、沼田市は全国偏差値と同水準、片品村よりも低い水準となっており、片品村に比較して都市経営の効率化が図られていると考えられる。

沼田市の土砂災害リスクは片品村（全国偏差値と同水準）に比べて高い水準となっている。



資料：国土交通省都市局の作成ツールを用いて作成

表 1-67 片品村との比較

### 3) 川場村との比較

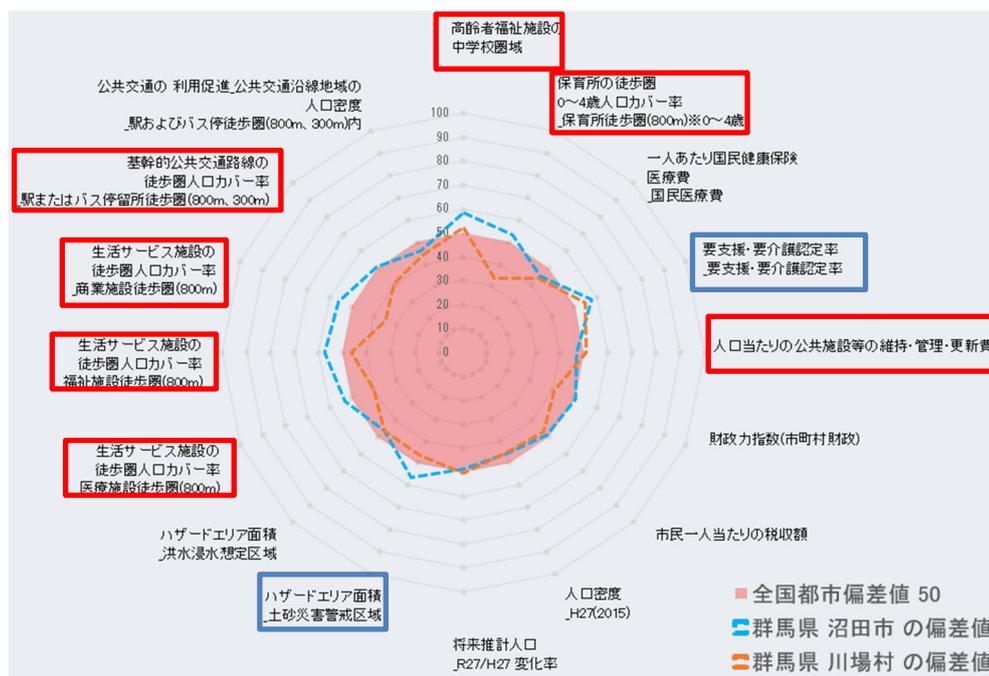
人口密度（H27）、将来推計人口変化率は同程度の水準であることから、人口減少の進行は同程度に進行すると予測される。

公共交通、保育所、生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率の水準が、沼田市のほうが高いことから、沼田市における公共交通や生活サービス施設の利便性は、川場村に比べて良いことが推察される。

高齢者福祉施設人口カバー率及び保育所徒歩圏人口カバー率は、川場村よりも高い水準となっている。特に、川場村の保育所徒歩圏人口カバー率は、全国偏差値を大きく下回っている。

要支援・要介護認定率の水準は川場村と同水準で全国偏差値を大きく上回っており、今後高齢者人口が増加することを鑑みると、更に認定率が高くなることが見込まれる。人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費（一人当たりの歳出額）については、沼田市は全国偏差値と同水準、川場村よりもわずかに低い水準となっており、川場村よりも都市経営の効率化が図られていると考えられる。

沼田市の土砂災害リスクは川場村（全国偏差値よりも低い水準）に比べて高い水準となっている。



資料：国土交通省都市局の作成ツールを用いて作成

表 1-68 川場村との比較

#### 4) 昭和村との比較

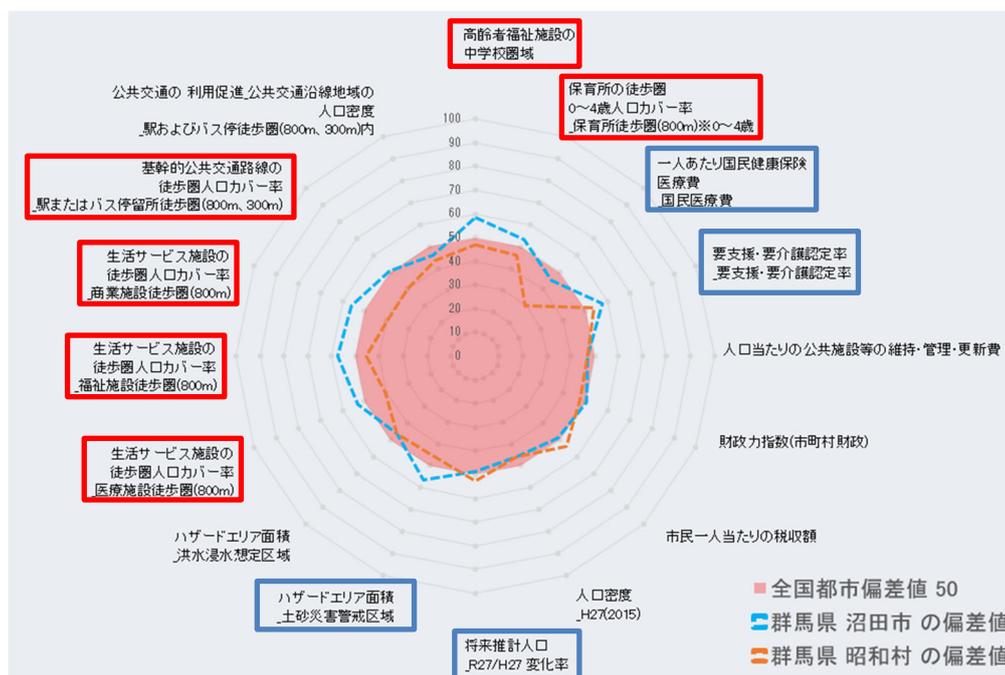
人口密度（H27）は同程度の水準であるが、沼田市の将来推計人口変化率はわずかに下回っていることから、昭和村に比べ沼田市のほうが人口減少の進行が速いと予測される。

保育所、公共交通、生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率の水準は、沼田市のほうが高いことから、沼田市における公共交通や生活サービス施設の利便性が昭和村に比べて良いことが推察される。

高齢者福祉施設人口カバー率及び保育所徒歩圏人口カバー率は、昭和村（全国偏差値以下）よりも高い水準となっている。

要支援・要介護認定率の水準は昭和村よりも上回っており、今後高齢者人口が増加することを鑑みると更に認定率が高くなるが見込まれる。沼田市の国民医療費は全国偏差値を下回っているが昭和村よりも高い水準で、昭和村に比べて高齢者人口増加等の医療費増大の影響が出ている。

沼田市の土砂災害リスクは昭和村（全国偏差値よりも低い水準）に比べて高い水準となっている。



資料：国土交通省都市局の作成ツールを用いて作成

表 1-69 昭和村との比較

---

### 1.3. 課題の整理

都市の現状及び動向分析、都市構造分析を踏まえ、立地適正化計画で解決していくべき課題を分野別に抽出、整理した。

表 1-70 分野別の課題の整理 (1/2)

分野	現状 (★：近隣町村との関係性に係る事項)	問題	課題
人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市全体で人口減少が進行、特に生産年齢人口の減少や高齢化率の増加が顕著。</li> <li>● 15歳以上就業者・通学者は流出超過。特に通学者は、前橋市や高崎市へ流出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口減少・高齢化率の増加による低密度な都市の形成が懸念。</li> <li>● 昼間人口の減少による地域の賑わい低下が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口密度の維持による良好な居住環境の創出</li> <li>● 都市機能の立地促進や産業誘致等による地域の賑わい確保</li> </ul>
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 用途地域外において都市的土地利用（商業用地、住宅用地等）が高い割合を占める。また、鉄道沿線や幹線道路、利根川沿川は準工業地域に指定。</li> <li>● 空家総数・空家率が増加傾向。特に沼田地区（中心市街地を含むエリア）における空家立地数が最も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郊外への開発意向・居住者の増加によるまちなかの賑わい低下や、用途が混在した開発の進行による居住環境の悪化が懸念。</li> <li>● 人口減少により今後さらなる空家の増加が見込まれ、治安や居住環境悪化が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちなかへの都市機能や居住の誘導による良好な居住環境の維持・向上</li> <li>● まちなかの居住環境の維持や空家等の低未利用地の有効活用</li> </ul>
★都市交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車依存率が7割以上と高い。近隣町村の自動車依存率は沼田市を上回る。</li> <li>● 市内の集落地域や近隣町村とのアクセスが可能な公共交通が運行されているが、鉄道や路線バスの利用者数は減少傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化率の増加により、自動車の運転が困難な方の増加が懸念</li> <li>● 利用者数の減少や今後更なる人口減少に伴い、公共交通の維持が困難になることが懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通を中心とした利便性の高いまちづくり</li> <li>● 公共交通サービスの維持や運行の効率化・最適化</li> </ul>
経済活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小売業の売場面積が減少傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小売店の衰退による地域の賑わい低下が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商業施設の立地促進による地域の賑わい確保</li> </ul>

表 1-71 分野別の課題の整理 (2/2)

分野	現状 (★：近隣町村との関係性に係る事項)	問題	課題
財政・地価の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市税が減少傾向。</li> <li>● 公共施設の老朽化により、更新が必要。</li> <li>● 地価は年々減少傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 更なる人口減少により、持続的な都市経営の維持が難しくなる恐れ。</li> <li>● 更新に必要な費用が不足する見込み。</li> <li>● 地価低下による税収減少の恐れ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DX の活用等による効率的・効果的な都市経営</li> <li>● 公共施設の集約化等による効率的な運営</li> <li>● 都市機能や居住の集約による地域の魅力創出</li> </ul>
災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利根川沿川を中心に洪水浸水想定区域が広がり、用途地域内の一部で浸水浸 3m 以上（計画規模）の地域や家屋倒壊等氾濫想定区域もみられる。</li> <li>● 用途地域内の沼田駅と中心市街地間等において土砂災害（特別）警戒区域が指定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 洪水による建物被害や人的被害が懸念。</li> <li>● 土砂災害による建物被害や人的被害が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 垂直避難が困難な浸水 3m 以上の地域や家屋倒壊等氾濫想定区域等の災害リスクが高い地域への立地抑制による災害リスクの低い地域への居住誘導</li> <li>● 土砂災害（特別）警戒区域等の災害リスクが高い地域への立地抑制による災害リスクが低い地域への居住誘導</li> </ul>
★都市構造分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政施設、高齢者福祉施設については、用途地域内でも徒歩圏域に含まれていない地域がある。</li> <li>● 同規模都市（渋川市）と比較すると生活サービス施設の徒歩圏カバー率の偏差値が低い。土砂災害警戒区域の面積を近隣町村と比較すると、片品村、川場村、昭和村より偏差値が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各地域で暮らしやすさや利便性に差が生じている。</li> <li>● 同規模都市よりも利便性が低いことによる人口流出や土砂災害による建物被害や人的被害が懸念。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活利便性の高い地域の特徴を生かした拠点の形成</li> <li>● 地域の賑わいや利便性の確保及び土砂災害（特別）警戒区域等の災害リスクが高い地域への立地抑制による災害リスクが低い地域への居住誘導</li> </ul>